

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0718

報告書提出
事業者名

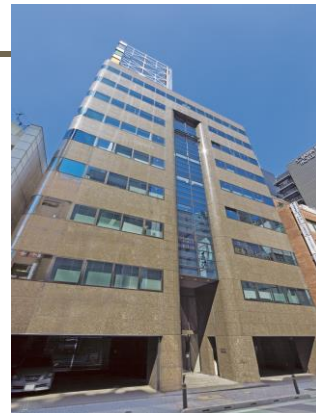
三井住友信託銀行株式会社

事業所名

銀座王子ビル

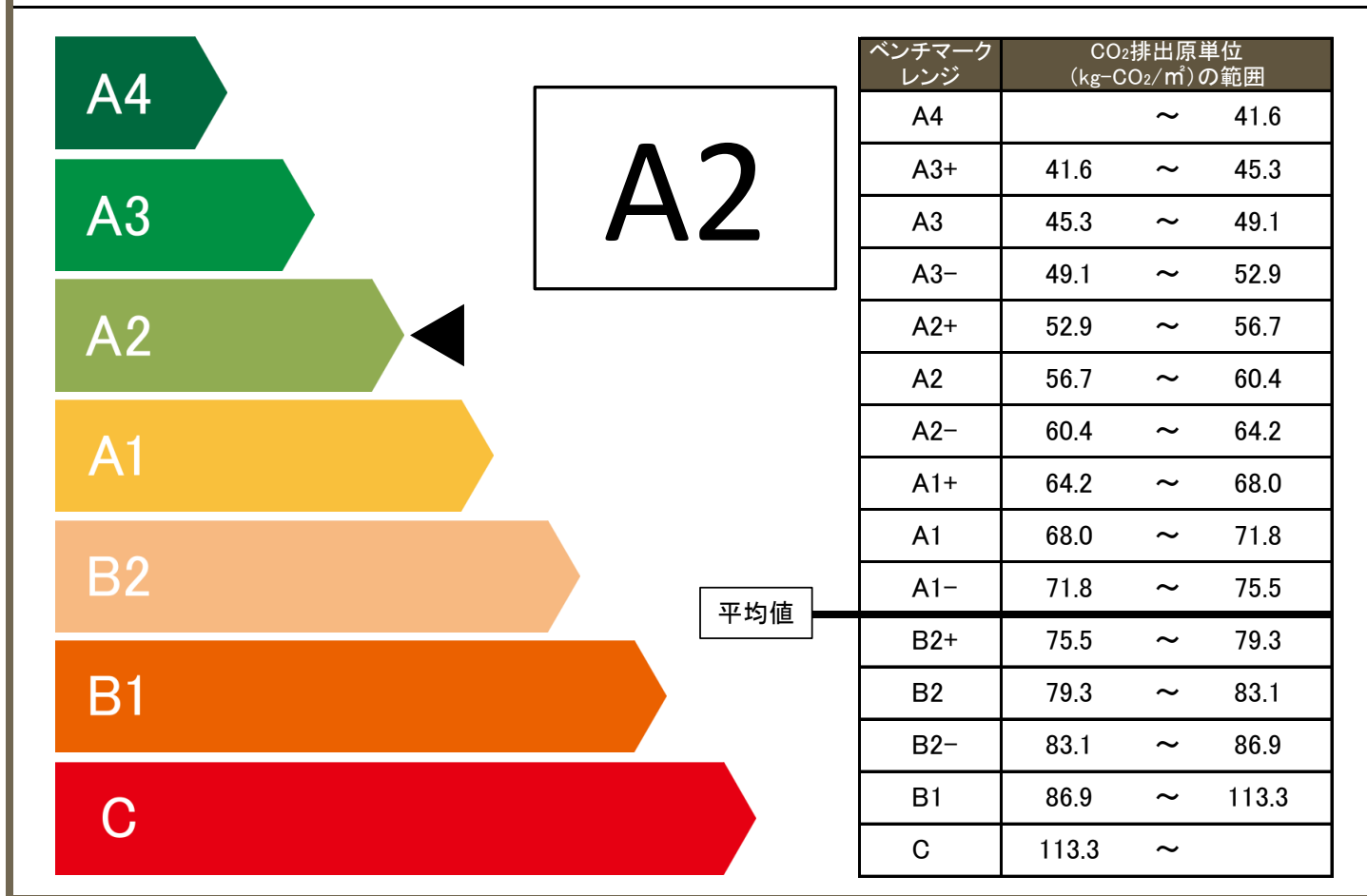
住所

東京都中央区銀座4-9-8



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2015 年	192t	3251.03 m ²	58.7 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準 (CO₂排出原単位の水準) を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標 (ベンチマーク) 解説書』(東京都環境局発行) を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	テナントにエネルギー使用量提供	テナントへの温暖化対策協力依頼
		使用量に応じた料金体系の採用
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握	自ら入手可能な情報に基づく把握	過去のデータによる傾向の把握
	エネルギー使用量の前年度比較	主要設備の使用状況の把握
		設備ごとに詳細に把握
運 用 対 策	空室・不在時等のこまめな消灯	照明スイッチに点灯範囲を表示
	空室・不在時等の空調停止	日本工業規格に準じた照度の設定
	共用部照明のフロアごとの管理	採光を利用した消灯の実施
		温度計等による室温の把握と調整
		温湿度の適正管理
		事務用機器を業務終了時に停止
		自動販売機の休日・夜間照明停止
		温湿度の適正管理
		便座ヒーター等温度の季節別設定
設 備 保 守 対 策	ランプ等の定期的な清掃・交換	セントラル空調のフィルター清掃
	空調フィルターの清掃・点検	換気フィルターの清掃・点検
		その他設備の定期的な保守・点検
設 備 導 入 対 策	高効率照明ランプの採用(屋内)	照明点灯範囲の細分化
	高効率照明器具の採用(屋内)	窓際照明の連続調光制御
		全熱交換器の導入

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

[建物]: 1991年竣工。延床面積3,251.03㎡。2006年、自社ビルからテナントビルへ用途変更。
 [電気設備]: キュービクル受変電設備、株式会社エネットと業務用電力契約、契約電力158kW、
 [空調設備]: 2006年に中央熱源方式空調設備を個別パッケージ空調方式に改修。全熱交換器を各階に1台設置。
 [照明設備]: 専用部主照明(Hf蛍光灯×2本)

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も含まれた平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。